

## DCF-2ER

4m<sup>3</sup>/時  
自動・手動式



二人で持てて運べるもので最大の処理能力を求めた一体型機種です。余裕のある能力はその時頼もしくなります。

## DCF-1ER

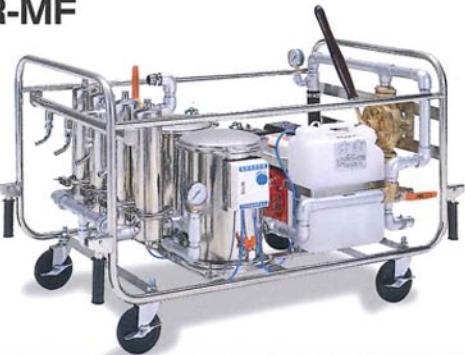
2m<sup>3</sup>/時  
自動・手動式



使いやすさ、処理能力、確実性、可搬性、で最もバランスの取れた標準機種であり、浄水装置のベストセラーです。

## DCF-2ER-MF

4m<sup>3</sup>/時  
自動・手動式



2ER型の粒子除去能力を0.1 μまで高めたもの。より磨かれた水を求める場合に役立ちます。

## DCF-1HL

1m<sup>3</sup>/時  
手動(自動)式

手動式で大きい減過容量が売り物、メンテナンスフリーで外部圧力水や消防ポンプとの接続により2m<sup>3</sup>/時の自動式に早変わりします。



## DCF-1ER-MF

2m<sup>3</sup>/時  
自動・手動式



1ER型の粒子除去能力を0.1 μまで高めたもの。より磨かれた水を求める場合に役立ちます。

## DCUF-0.5

0.5m<sup>3</sup>/時  
手動式

塩素消毒剤の入手困難な外國の僻地用に開発したもので、ウィルスまで除去できるUF膜を使用した携帯用の浄水装置。



## DCF-1MR

1.8m<sup>3</sup>/時  
自動電動式・手動式

巨大地震発生が叫ばれて1/3世紀 多くの備蓄品が整備された中に発電機も含まれている。緊急時用浄水装置を発売して32年、そろそろ“自動電動式”的浄水装置があつてもよい時期と考え、新商品として世に出すことにしました。濾過・吸着フィルターは定評のものを使い、電動ON-OFF自動式であり、排ガスが出ないので地下室や密閉した空間で使え、静かなため病院や避難場所の近くでも使え、無駄な水を出さず、消毒が目で確認でき、防雨型なので屋外で使え、停電時には手動で使えます。さらに、使用後は水抜きだけで、殆どメンテナンスが不要です。欠点としては、カスケード式ポンプのため、小石やヘドロの吸い込みができない、揚程が容積式ポンプより低いため、時間処理量が10%位少ないとことです。

